

兵庫県但馬水産技術センターだより

赤潮情報 TAK-07-02 号

令和7年7月9日発行

7月7日と8日に但馬沿岸(居組～津居山)で有害赤潮プランクトンの臨時調査を実施しました。

【概況】

- ・津居山以外で有害赤潮種シャットネラ・マリーナが確認されましたが、7/7の香住漁港東港(ふれあいデッキ)以外は注意基準値未満でした。
- ・香住漁港東港ではシャットネラ・マリーナは先週(7/3:11 細胞/mL、7/4:64 細胞/mL)からは減少傾向でしたが、有害赤潮種カレニア・ミキモイが先週(7/3:0.44 細胞/mL)から増加傾向にあります。
- ・生け簀で蓄養中の魚類をへい死させる恐れがあるため、漁船の活け間や活魚水槽の取水などにご注意願います。

【注意が必要な赤潮プランクトンの密度】

シャットネラ・アンティカ、マリーナおよびオバータの合計値	注意体制: 10 細胞/mL 警戒体制: 100 細胞/mL
カレニア(ギムノディニウム)・ミキモイ	注意体制: 500 細胞/mL 警戒体制: 5,000 細胞/mL

【有害赤潮プランクトン検鏡結果】

(海水1 mLあたりの細胞数)

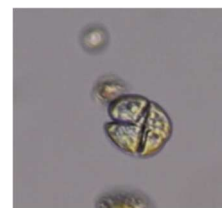
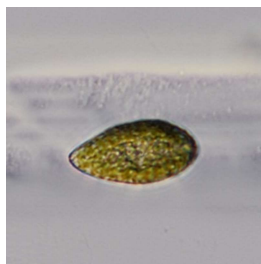


調査定点	採水層 (m)	シャットネラ・マリーナ	カレニア・ミキモイ
陸上からの採水	居組(7/7)	0	0.02
	浜坂(〃)	0	0.05
	三尾(〃)	0	0
	餘部(〃)	0	0.27
	香住(〃)	0	0.16
	香住漁港東港(7/7)	13.50	5.57
	〃(7/8)	1.63	2.40
	柴山(7/8)	0.19	0.09
	竹野(〃)	0.17	0.05
	津居山(〃)	0	0



【今後の調査予定】

- ・今後、海況によって臨時調査を実施した場合は、「赤潮情報」としてお知らせいたします。



シャットネラ(左)とカレニア(右)の光学顕微鏡写真

§ お問い合わせ先 § 兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター (担当: 中村 Tel: 0796-36-0395)
兵庫県但馬県民局但馬水産事務所 (担当: 水産課・峰、渡邊 Tel: 0796-36-1153)
ホームページ: <http://www.hyogo-suigi.jp/tajima/index.htm>